

箕面公園昆虫館 <http://www.mino-konchu.jp>
〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18
TEL.072-721-7967

—
vol.25 TAKE FREE

箕面公園で昆虫たちと遊ぼう

箕面公園 昆虫館 だより

Minokoen Konchukan

Vol.25

クワコ
(カイコガ科)

Bombyx mandarina

クワコはカイコの原種で、クワコを家畜化した種がカイコだと考えられています。幼虫はカイコと同じくクワの葉を食べて育ちます。カイコにくらべてだいぶ小さい繭を作ります。

兵庫県三田市 2010年11月9日 中峰空撮影

special [特集]

企画展「日本の蛾」

report

昆虫館周辺のカマキリ図鑑





企画展

もふもふ。

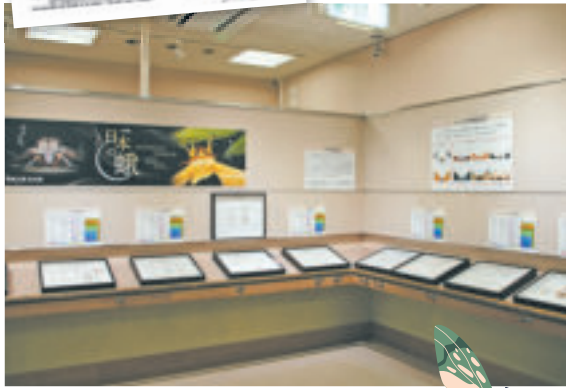
日本の蛾

ひたひた。

地味だけどよくみたら美しい!
日本の蛾、とくにご覧ください。

2023.9.6(水)
~12.11(月)

箕面公園昆虫館 中峰 空館長



ガの多様性はチョウ以上!? その魅力にふれてみよう

ガを含むチョウ目には世界に約16万種、日本では約6400種が知られています。日本に分布するチョウ目のうちチョウはたったの約250種で残りは全てガです。ところが、ガはチョウに比べて人気があるとは言えず、どちらかと言うと嫌われることの方が多いかもかもしれません。しかし、形態・生態の多様性は圧倒的にガの方が高く、変わった生態、複雑な翅の模様など見れば見るほどガは魅力にあふれていることがわかります。今回の企画展では昆虫館に収蔵されているガの標本のうち468種、1477点を厳選して展示します。是非この機会にガの面白さを知っていただけたらとても嬉しいです。

※箕面公園昆虫館の第二代館長 斉藤寿久氏(1974年~1991年在籍)と第三代館長 高浜雅昭氏(1991年~2001年在籍)は、ガを含め様々な昆虫の蒐集(しゅうしゅう)に尽力されました。今回の企画展は主にこの時代に集められた標本を中心に構成されています。



腹部の黄色が綺麗!

キミはどれがお気に入り?

綺麗なガ

前翅と後翅のコントラスト

こんな綺麗なガがいるの、知ってた?



キバラケンモン (ヤガ科)

Trichosea champa

[分布] 北海道、本州、四国、九州、東アジア
幼虫はサクラ類を中心にその他のバラ科、ツバキ、ツツジ科の植物の葉を食べます。成虫は4月~11月に見られます。

ヒトリガ (ヒトリガ科)

Arctia caja

[分布] 北海道、本州、ユーラシア
幼虫はふわふわの毛虫で「クマケムシ」とよばれています。成虫は8月~9月に見られます。



オニベニシタバ (ヤガ科)

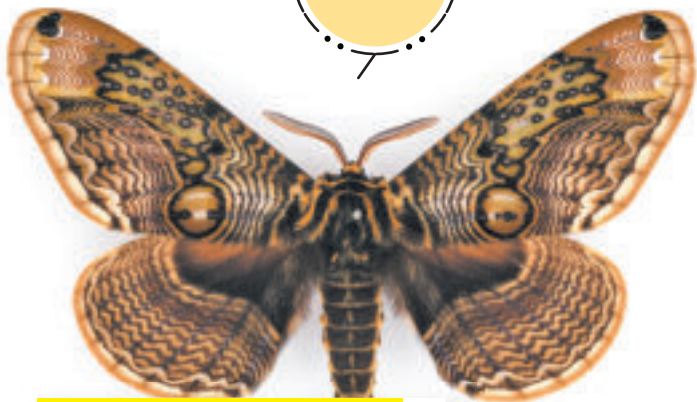
Catocala dula

[分布] 北海道、本州、四国、九州、東アジア
幼虫はコナラやクヌギなどのブナ科の植物の葉を食べます。成虫は6月中旬~10月下旬にかけて見られます。



翅も体も全部綺麗!

複雑な模様が美しい



イボタガ (イボタガ科)

Brahmaea japonica

[分布] 北海道、本州、四国、九州(固有種)
幼虫はイボタノキ、キンモクセイなどのモクセイ科の植物の葉を食べます。成虫は春に見られます。

ヒメヤママユ (ヤマユガ科)

Saturnia janassii

[分布] 北海道、本州、四国、九州(固有種)
幼虫はバラ科、スイカズラ科、ブナ科などいろいろな植物の葉を食べます。成虫は9月~11月に見られます。

異国情緒あふれる



キオビエダシャク (シャクガ科)

Milionia zonea

[分布] 九州、南西諸島、台湾、東南アジア
幼虫はイヌマキ、ナギなどマキ科の植物の葉を食べます。成虫は3月~11月に見られます。

上品な美しさ

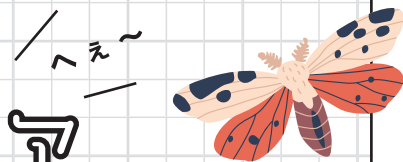


中峰館長
が教える



ちょっと珍しい

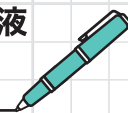
蛾の生態トリビア



ヒグラシの腹部に寄生する セミヤドリガの幼虫



カブトムシ・クワガタが大好きなクヌギの樹液 ボクトウガが関わっている!?



ココ

セミヤドリガの幼虫はセミの成虫に外部寄生して体液を摂取し成長します。チョウ目全体で見てもこのような生態はとも変わっています。7~8月ごろに孵化した幼虫はセミの腹部にとりついて寄生します。セミヤドリガの幼虫はヒグラシに寄生しているのがほとんどで、他にはミンミンゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシなどでも見つかっています。8~9月に羽化して木の幹に産卵します。セミヤドリガのオスはほとんど見つかっておらず、単為生殖をすると考えられています。卵で冬を越し、卵の状態ですべて待ちます。



羽化した成虫と抜け殻



面白い幼虫の顔。アンパンマンに似てる?

クヌギから流れ出る樹液、そしてそこに集まるカブトムシ、クワガタ、ヨツボシケシキスイ。実はこのような風景にボクトウガが関わっていることがわかりました。ボクトウガの幼虫はクヌギやコナラなどの樹皮下を食べて育ちます。2010年に発表された研究では、ボクトウガの幼虫が樹皮下に穴をあけると樹液のしみ出しがよくなること、さらに面白いことに樹液に集まった虫を積極的につかまえて食べるということがわかりました(市川・上田, 2010)。



樹液の出るクヌギ



ココ

穴から頭を出すボクトウガの幼虫
伊丹市昆虫館 前畑真実氏撮影



ボクトウガの幼虫

伊丹市昆虫館 前畑真実氏撮影



ボクトウガのさなぎ

伊丹市昆虫館 前畑真実氏撮影



ボクトウガの成虫

伊丹市昆虫館 前畑真実氏撮影



コカマキリ (カマキリ科)

Statilia maculata

[分布] 本州、四国、九州、台湾、朝鮮半島、中国の縁や草地、河川敷などの地表近くで見られる。茶色の個体が多いがたまに緑色の個体が見つかる。

ヒメカマキリ (ハナカマキリ科)

Acromantis japonica

[分布] 本州、四国、九州、朝鮮半島
箕面でもよく見られる小さめのカマキリ。危険を察知するとあちこち飛び跳ねて最終的に死んだふりをする。



昆虫館周辺の カマキリ図鑑

カマキリ図鑑

昆虫館のある箕面公園でも
たくさんのカマキリを見ることができます。
秋が特に見かけることが多いですよ!



ハラビロカマキリ (カマキリ科)

Hierodula patellifera

[分布] 本州、四国、九州、南西諸島;台湾、中国、朝鮮半島、東南アジア
箕面で一番目にするカマキリ。よくハリガネムシに寄生されている。攻撃的で力強いのでつかむ時は注意が必要。



オオカマキリ (カマキリ科)

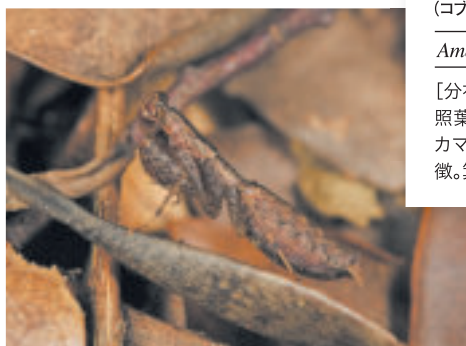
Tenodera sinensis

[分布] 北海道南部、本州、四国、九州、台湾、中国、朝鮮半島
とにかく立派でかっこいいカマキリ。林の縁やクズなどが生えるマント群落でよく見られる。

ヒナカマキリ (コヒナカマキリ科)

Amantis nawai

[分布] 本州、四国、九州、南西諸島、台湾
照葉樹林の林床にすむ、日本で一番小さいカマキリ。成虫になっても翅が短いのが特徴。箕面でもよく見つかる。

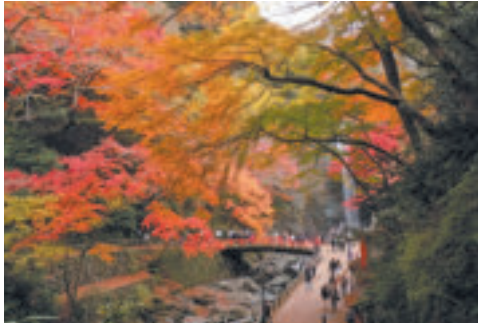




箕面公園昆虫館は箕面公園内にあります

自然豊かな箕面公園も一緒に楽しみませんか？

①みのお大滝



公園の入口である一の橋を渡り、楓のトンネルや杉木立の中を溪流に沿って滝道を2kmほど歩くと、「日本の滝百選」に選ばれた高さ33mのみのお大滝(箕面大滝)に至ります。

②野口英世像



世界の医聖といわれている野口英世博士は、大正4年(1915)米国留学から帰国した際、待ちわびていた母を伴って箕面に来遊されました。それにちなみ博士の生前の偉業をたたえ、昭和30年(1955)11月に銅像が建立されました。

③望海展望台

急峻な展望道を登りつめると、視界が一気に拡がり爽快な気分になります。天気の良い日には、ここから大阪湾を一望のもとに見渡せますよ！



④瀧安寺



658年飛鳥時代、役行者が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、山岳信仰修験道の根本道場として、大護摩法要(毎年4・7・11月)が行われます。本堂の弁財天は、江の島、琵琶湖竹生島、宮島とともに日本四弁財天の一つです。また、宝くじ(富くじ)発祥のお寺としても知られています。



箕面公園昆虫館

ご注意とお願い

- ゴミは各自で持ち帰ってください。
- 公園内は火気厳禁です。焚き火・バーベキューなどはできません。
- 公園内は一般車両(自転車含む)の乗り入れはできません。
- 草花や木を採らないでください。
- サルやイノシシなど野生動物にエサを与えないで下さい。

箕面公園の紅葉

紅葉の名所としても有名な箕面公園。11月中旬から12月上旬には美しい風景が楽しめます。

滝上山肌



千本園路



修行古場



瀧安寺



西江寺



昆虫館前



箕面公園昆虫館の利用案内



- URL** <http://www.mino-konchu.jp>
- 所在地** 〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18 TEL.072-721-7967
- 開館時間** 午前10時00分から午後5時00分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 火曜日が休館(祝日のときは開館し、翌平日が休館)・年末年始(12/29~1/3) 11月は全日開館
- 入館料** 大人 280円、中学生以下無料、団体(有料入館者30名以上) 1名 200円 ※障がい者手帖をお持ちの方、およびその介護者1名 無料
- 交通機関** 阪急宝塚線 石橋阪大前駅で箕面線に乗り換え箕面駅へ、千里中央駅から阪急バスで箕面駅へ

●箕面市立駐車場をご利用ください。箕面公園昆虫館には駐車場がありません(公園内、一般車両乗り入れ不可)

発行：箕面公園指定管理者 メイプルハーツ企業共同体

